

令和 7 年（2025 年）度事業報告書・収支決算書

令和 8 年（2026 年）度事業計画書・収支予算書



「5th Iwate Collider School (ICS2026)」令和 8 年（2026 年）3 月
安比高原にて © Iwate Collider School 2026



SLAC 国立研究所訪問 令和 7 年（2025 年）9 月
アメリカ合衆国 カリフォルニア州にて

令和 8 年（2026 年）6 月 11 日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

令和 7 年度

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

事業報告書

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

- (1) 国内・外の状況と活動概況
- (2) 国等への要望活動の強化
 - ア. 国等への要望活動等
- (3) 国内・外への ILC 誘致実現にむけた活動
 - ア. 国内 PR の強化
 - イ. 海外への情報発信強化
 - ウ. 普及啓発活動
 - エ. 岩手県 ILC 連携室・オープンラボ活用支援
- (4) 調査・研究活動
 - ア. ILC に関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出
 - イ. 東北 ILC 事業推進センターの活動
 - ウ. ガイドラインシリーズ等の発刊による国内外への情報発信強化
- (5) 広報活動
- (6) 組織強化活動
 - ア. 会員増強
 - イ. 産・学・官・関係機関との連携
- (7) 諸会議等
- (8) 会員加入状況

(1) 国内・外の状況と活動概況

国際リニアコライダー（ILC）をめぐる国際情勢は、急激に進展した中国の周長 100 kmの巨大円形加速器計画（CEPC）が、中国政府の第 15 次科学技術 5 か年計画（2030 年～）に提出するまでに至らなかった。欧州では、中国の計画を見据えた欧州素粒子物理学戦略の更新作業が進められ、2025 年 12 月、研究者コミュニティから CERN 理事会に円形加速器計画（FCC-ee）の戦略草案（勧告）が提出され、2028 年の決定に向けて、更新作業が進行中である。米国は、2023 年 12 月、欧州の FCC-ee か ILC に大きな役割を果たすことを推奨し、建設される場合、10 年間で円換算 1,450 億円～4,350 億円を想定すると公表している。

このような中、当推進協議会は令和 6 年度から引き続き自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」役員に対して、ILC 計画への理解と支援を強く訴えた。

また、鈴木俊一自由民主党幹事長（前総務会長）、小野寺五典税制調査会長（前政務調査会長）をはじめ東北選出国會議員、経済 3 団体等に積極的な支援を要請する活動を、一年を通して行った。

さらに、2025 年 11 月に発足した高市内閣は、官民連携の「危機管理投資」・「成長投資」を促進し、「強い経済」を実現するため「日本成長戦略会議」を立ち上げた。さらに「地域未来戦略」では、地域毎に産業クラスターを形成し、地場産業の付加価値向上と販路開拓を強力に支援することとして 2026 年夏を目途にとりまとめを目指している。

このような中、活動を休止していた超党派 ILC 国會議員連盟は、11 月に総会を開催し、大野敬太郎会長（香川 3 区）、階猛副会長（岩手 1 区）、小林史明事務局長（広島 6 区）が就任し、活動が再開されたが、2026 年 2 月、衆議院が解散・総選挙が実施された。

高市政権下の要望活動においては、ILC の先端加速器技術が 17 項目の成長戦略分野を構成している AI・半導体、量子、創薬・先端医療、フュージョンエネルギーなど多くの分野の基盤技術となるものであり、ILC の実現により、次世代の超微細半導体技術の開発、がん治療や精密診断をはじめとする医療の高度化、次世代原子炉の実現など広範囲にわたり多様な変革をもたらし、産業のイノベーションを創出していくことから、ILCこそが「日本の未来の牽引力」、次世代の「稼ぐ力」を創出し、持続的な成長型経済をもたらす日本の成長戦略の核として位置づけられるよう、国會議員等への働きかけを強めた。

国内の情報発信においては、7 月開催の ILC 公開講演会では、地元企業 3 社による取組事例と ILC 誘致活動に長らく携わる森俊則東京大学名誉教授を講師に、12 月には村山斉カリフォルニア大学バークレー校 MacAdams 冠教授と ILC100 人委員会代表増田寛也野村総合研究所顧問を招聘して、500 人を超える参加者と盛会裏に開催した。

海外への情報発信では、谷村会長が達増知事とともに日米経済ミッションに参加、カリフォルニア大学バークレー校、ローレンスバークレー国立研究所、SLAC 国立研究所を訪問、米国研究者に地元の熱意と取組み状況を伝えた。

また、岩手大学主催で 5 回目となる国内外の学生が学ぶ「5th Iwate Collider School (ICS2026)」を共催し、開催支援を行った。

令和 7 年度は、各種の啓発活動も切れ目なく展開するなど、岩手県 ILC 推進局、ILC 関係団体とともに積極的に事業を展開した。

(2) 国等への要望活動の強化

ア. 国等への要望活動等

① ILC 国会議連幹部、候補地選出国會議員等との面談

令和 7 年 4 月 14 日（月）/衆議院議員会館、参議院議員会館

訪問先：田村 憲久 衆議院議員（元副会長）、階 猛 衆議院議員（元幹事）、
木戸口 英司 参議院議員

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について説明。

「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」への支援と ILC 国会議連の再始動について意見交換を行った。

② 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」

石田 昌宏 幹事（参議院議員）との面談

令和 7 年 4 月 22 日（火）/参議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について説明。

ILC 国際研究所には、世界の研究者が集まるメリットがあるなど、ILC 日本誘致実現について、意見交換を行った。

③ ILC 国会議連幹部、候補地選出国會議員等との面談

令和 7 年 4 月 25 日（金）/衆議院議員会館、参議院議員会館

訪問先：森 英介 衆議院議員（元顧問）、横澤 高德 参議院議員

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について説明。

「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」について、ILC 国会議連の再始動について意見交換を行った。

④ 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」

国光 あやの 事務局長代理（衆議院議員）との面談

令和 7 年 4 月 25 日（金）/衆議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について説明。

科学技術分野への取組みは重要であり、医療分野の進展など波及効果が今後も期待されることから、ILC 日本誘致実現について、意見交換を行った。

⑤ 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」

高木 啓 幹事（衆議院議員）、東北選出国會議員との面談

令和 7 年 5 月 8 日（木）/衆議院議員会館

訪問先：高木 啓 幹事（衆議院議員）、神田 潤一 衆議院議員（青森）

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、東北 ILC
事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について説明。

日本の要素技術を進展させる宇宙分野と同様に加速器分野の重要性を訴えるなど、ILC 日本誘致実現について、意見交換を行った。

⑥ ILC 実現に関する東北合同要望

令和 7 年 5 月 13 日（火）/自由民主党、文部科学省、内閣府、復興庁

要望先：自由民主党：鈴木 俊一 総務会長、小野寺 五典 政務調査会長

文部科学省：野中 厚 文部科学副大臣

内閣府（科学技術）：柿田 泰良 科学技術・イノベーション推進事務局統括官

復興庁：伊藤 忠彦 復興大臣（鈴木 憲和 復興副大臣同席）

要望者

岩手県：達増知事、谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、工藤県議会議長、飯澤県議会副議長、内館岩手県市長会会長、青木岩手県町村会理事、ILC 実現建設地域期成同盟会：佐藤一関市長、倉成奥州市長、湊上大船渡市長、小岩一関会頭

宮城県：伊藤副知事、高橋県議会議長、ILC 実現建設地域期成同盟会：菅原気仙沼市長、猪股登米市 ILC 誘致推進協議会代表理事

要望項目：（1）国家プロジェクトとして位置づけ、政府全体で推進すること

（2）政府が主導して国際的な議論を推進すること

（3）国際協働による加速器の研究開発等の着実な推進に必要な予算措置を講じること



内閣府への合同要望



文部科学省への合同要望

⑦ 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」

田野瀬 太道 副会長（衆議院議員）との面談

令和 7 年 5 月 30 日（金）/衆議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について説明。

ILC 国会議連のほかにも戦略調査会が塊となった活動を推進するなど、早期の ILC 日本誘致実現について、意見交換を行った。

⑧ 桜井 充 参議院議員との面談

令和 7 年 6 月 9 日（月）/仙台：桜井充事務所

出席者 岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、猿川事務局長

- ・ 高エネルギー加速器研究機構（KEK）を視察し、ILC によるイノベーション効果は大きく、技術開発が次の半導体など産業のイノベーションを起こすことを実感したとの発言を受け、省庁横断による ILC 日本誘致実現について意見交換を行った。

⑨ 増田 寛也 ILC100 人委員会代表（株式会社野村総合研究所顧問）との打合せ

令和 7 年 7 月 7 日（月）/株式会社野村総合研究所会議室

出席者：岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」役員との面談状況、5 月 13 日の ILC 実現に関する東北合同要望、ILC 公開講演会など ILC 推進活動の情報を共有し、早期の ILC 日本誘致実現の推進方策について意見交換を行った。

⑩ 日本商工会議所、経済同友会との打合せ

令和 7 年 7 月 7 日（月）/経済団体会議室

出席者：日本商工会議所地域振興部、経済同友会 齋藤事務局長・代表理事

岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」役員との面談状況、5 月 13 日の ILC に関する東北合同要望、ILC 公開講演会など ILC 誘致実現活動の情報を共有し、早期の ILC 日本誘致実現の推進方策について意見交換を行った。

⑪ 東北選出国會議員事務所訪問（21 か所）

令和 7 年 7 月 18 日（金）/衆議院議員会館、参議院議員会館

訪問者：猿川事務局長

- ・ ILC 日本誘致実現に向けた支援の依頼と ILC 公開講演会の新聞記事等を持参し、熱意ある地元の活動を訴えた。

⑫ 森 俊則 東京大学名誉教授（高エネルギー委員会幹事）との打合せ

令和 7 年 8 月 8 日（金）/東京大学理学部 1 号館西棟

出席者：東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・これまでの岩手県 ILC 推進協議会の活動状況を共有し、今後の欧州物理戦略策定の動向を見据えた ILC 日本誘致実現にむけた推進方策について意見交換を行った。

⑬ 岩手県議会・宮城県議会国際リニアコライダー建設実現議員連盟令和 7 年度 ILC 講演会

令和 7 年 8 月 19 日（火）/ホテルメトロポリタン盛岡 NW

出席者：岩手県議会議員 22 名、宮城県議会議員 9 名、ILC 実現建設地域期成同盟会 7 名、

岩手県 4 名、宮城県 4 名、東北 ILC 推進協議会 1 名、齋藤理事、猿川事務局長

講師：山本 均 氏（東北大学名誉教授）

演 題：「国際リニアコライダーを取り巻く世界情勢」

- ・世界で建設計画が進む日本、中国、欧州のヒッグスファクトリーの計画概要とヒッグス粒子研究の重要性、欧州素粒子物理学戦略への日本の高エネルギー物理学研究者からの戦略的関与を求める講話。

⑭ 令和 7 年度岩手県選出国會議員・中央省庁要望（岩手県商工会議所連合会）

令和 7 年 9 月 17 日（水）/自由民主党本部、文部科学省、中小企業庁、

ホテルグランドアーク半蔵門

出席者：谷村会長、鎌田副会長ほか県内商工会議所会頭、専務理事

- ・要望先：自由民主党 鈴木 俊一 総務会長
小野寺 五典 政務調査会長
文部科学省 淵上 孝 研究振興局長
中小企業庁 山下 隆一 中小企業庁長官



文部科学省 淵上 孝 局長のあいさつ



ILC の早期実現を求める 谷村会長

- ・地元選出国會議員要望、懇談会：ホテルグランドアーク半蔵門

階 猛 衆議院議員、横澤 高德 参議院議員、鈴木 俊一 衆議院議員（懇談会）、
小沢 一郎 衆議院議員（代理）

- ・要望書 「東日本大震災津波被害からの復興完遂と、その先を見据えた岩手県経済の再生に向けて」

⑮ 鈴木 俊一 自由民主党総務会長、小野寺 五典 政務調査会長による
高エネルギー加速器研究機構（KEK）視察に同行

令和 7 年 9 月 25 日（木）/KEK 管理棟会議室、つくば実験棟：Bell II 測定器、

ERF 開発棟：エネルギー回収型線形加速器、

超伝導リニアック施設：超伝導加速器空洞の開発

同行：文部科学省素粒子研究振興局長、邊田素粒子・原子核研究室長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、猿川事務局長

- ・浅井機構長より KEK の研究活動や加速器の技術開発について説明を受けた後、主要な 4 施設を視察、研究者から装置等の仕組みや性能、産業応用への取り組み状況などの説明を受け、ILC で課題とされている技術開発は順調に進んでいることを確認した。

⑯ 岩手県・宮城県選出国會議員訪問

令和 7 年 9 月 30 日（火）～10 月 1 日（水）/衆議院議員会館、参議院議員会館

訪問者：登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、猿川事務局長

- ・ILC 公開講演会、鈴木総務会長、小野寺政調会長の KEK 視察新聞記事等を持参し、ILC 日本誘致実現に向けた支援と協力を依頼した。

⑰ 増田 寛也 ILC100 人委員会代表（野村総合研究所顧問）との打合せ

令和 7 年 10 月 9 日（木）/株野村総合研究所会議室

出席者：岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・岩手県知事による北米トップセールス、国会議連の動きを共有。内閣が変わり、議連も新体制が見込まれることから、情報を共有。

12 月の講演内容については、内閣や 11 月予定の議連の新体制を含めて動向を見極め、再度、打合せを行うこととした。

⑱ 日本商工会議所、経済同友会との打合せ

令和 7 年 10 月 9 日（木）/経済団体会議室

出席者：日本商工会議所地域振興部、経済同友会 齋藤事務局長・代表理事

岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・岩手県知事による北米トップセールス、国会議連の動き、鈴木総務会長と小野寺政調会長の KEK 視察など、最新の動向を共有。経済団体としての後押しを依頼。

⑲ 階 猛 衆議院議員、桜井 充 参議院議員との面談

令和 7 年 10 月 22 日（水）/衆議院議員会館、参議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・午前に行われた ILC 建設地域期成同盟会による鈴木幹事長、小野寺前政調会長との面談報告と今後の推進方策について意見交換を行った。

⑳ 増田 寛也 ILC100 人委員会代表（株式会社野村総合研究所顧問）との打合せ

令和 7 年 11 月 19 日（水）/株式会社野村総合研究所会議室

出席者：岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ 11 月 26 日に開催する、ILC 国会議連総会の情報は共有して進めたい。「日本成長戦略会議」を視野に経済団体にも成長戦略重要項目に横断的に貢献する基盤技術である加速器技術（ILC）の重要性を訴えるなど、ILC 誘致実現推進への意見交換を行った。

㉑ 日本経済団体連合会と面談

令和 7 年 11 月 19 日（水）/日本経済団体連合会会議室

出席者：岩村常務理事

岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ 筒井会長は「日本成長戦略会議」の有識者構成員であり、重点分野に横断的に関わる基盤技術である加速器技術（ILC）について説明。「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」の支援を依頼した。

㉒ リニアコライダー（先端線型加速器）国際研究所推進議員連盟総会

令和 7 年 11 月 26 日（水）/衆議院議員会館

- ・ 議題は役員人事。

会長に大野 敬太郎 衆議院議員（香川 3 区）、副会長に階 猛 衆議院議員（岩手 1 区）、事務局長に小林 史明 衆議院議員（広島 6 区）が就任。今後の議連の活動について意見交換が行われた。

㉓ 階 猛 ILC 国会議連副会長（衆議院議員）との面談

令和 7 年 12 月 11 日（木）/衆議院議員会館

出席者：岩手県植野 ILC 推進局長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC 国会議連の副会長に就任した階 猛 衆議院議員と面談。今後の推進方策について、意見交換を行った。

㉔ 大野 敬太郎 ILC 国会議連会長（代理：奴賀秘書）との面談

令和 7 年 12 月 18 日（木）/衆議院議員会館

出席者：岩手県植野 ILC 推進局長、猿川事務局長

- ・ 村山斉カリフォルニア大学バークレー校教授による ILC 国会議連への講話について、日程などの打合せを行った。

㉕ 経済産業省幹部との面談

令和 7 年 12 月 26 日（金）/経済産業省会議室

出席者：谷村会長、齋藤理事、猿川事務局長

- ・ 先端加速器技術（ILC）が日本成長戦略で掲げる成長投資、危機管理投資に横断的に関わることを説明し、日本の科学技術への戦略的投資についての理解を求めた。

②⑥ 増田 寛也 ILC100 人委員会代表（株式会社野村総合研究所顧問）との打合せ

令和 8 年 1 月 15 日（木）/株式会社野村総合研究所会議室

出席者：岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長

- ・ 前回以降の ILC 国会議連役員等への面談状況、村山斉教授による国会議員面談などを共有。
日本成長戦略、地域未来戦略は 5 月の連休前までと考えて、働きかけを行うこととした。

②⑦ 日本商工会議所との打合せ

令和 8 年 1 月 15 日（木）/日本商工会議所会議室

出席者：日本商工会議所地域振興部

岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ 欧州の巨大円形加速器の情報を共有。日本成長戦略会議、地域未来戦略など政府の動きについての情報を共有することとし、併せて、日本の科学技術への戦略的投資についての理解を求めた。

②⑧ 村山斉カリフォルニア大学バークレー校教授による ILC 国会議連幹部との面談

令和 8 年 1 月 13 日（火）/ 階 猛 副会長 /衆議院第一議員会館法務委員長室

令和 8 年 1 月 15 日（木）/ 鈴木 俊一 幹事長・副会長 /自民党本部幹事長室

令和 8 年 1 月 16 日（金）/ 小林 史明 事務局長 /衆議院議員会館

出席者：岩手県植野 ILC 推進局長、猿川事務局長

- ・ 村山斉教授から ILC 国会議連幹部と意思疎通をしたいとの申し出により面談調整。村山教授から ILC の科学的意義と ILC をめぐる国際情勢について説明。
政府資金による研究開発費の増大による ILC 実現を求めた。

②⑨ 藤原 崇 衆議院議員、伊藤 信太郎 衆議院議員、西村 明宏 衆議院議員との面談

令和 8 年 2 月 25 日（水）/衆議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ 衆議院議員選挙後、当選された岩手県・宮城県の元 ILC 国会議連幹部と面談。
約 1 年半程度の ILC をめぐる国内外の情勢を説明。再始動した ILC 超党派議連の活動や日本成長戦略と ILC（加速器）の基盤技術の有効性などについて意見交換を行った。

③⑩ 渡辺 勝幸 衆議院議員、米内 紘正 衆議院議員、大塚 拓 衆議院議員、土井 亨 衆議院議員との面談

令和 8 年 3 月 3 日（火）/衆議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 推進協議会猪股代表理事、猿川事務局長

- ・ 衆議院議員選挙後、当選された岩手県・宮城県の衆議院議員、ILC 議連幹部と面談。
約 1 年半程度の ILC をめぐる国内外の情勢を説明。再始動した ILC 超党派議連の活動や日本成長戦略と ILC（加速器）の基盤技術の有効性などについて意見交換を行った。

③① 藤原 崇 衆議院議員、木村 次郎 衆議院議員、神田 潤一 衆議院議員との面談

令和 8 年 3 月 19 日（木）/衆議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

・衆議院議員選挙後、当選された岩手県・青森県の衆議院議員と面談。

約 1 年半程度の ILC をめぐる国内外の情勢を説明。再始動した ILC 超党派議連の活動や日本成長戦略と ILC（加速器）の基盤技術の有効性などについて意見交換を行った。

藤原崇衆議院議員には、各議員との面談状況を報告した。

（３）国内・外への ILC 誘致実現に向けた活動

ア. 国内 PR の強化

① 全国向け ILC PR 動画「ILC in Action～科学との出会い～」拡散活動

内容：ILC 日本誘致実現には、国民の盛りあがりが必要不可欠なことから、ターゲットを若者向けに設定し、当推進協議会として初めて「Tik Tok」を主な情報媒体として「ILC・科学へのきっかけ」となる動画を制作し、拡散した。

情報媒体は主に「Tik Tok」

令和 7 年 3 月末 動画再生回数 約 230 万回/人

令和 7 年度は、さらなる拡散を目的に

「Tik Tok」に広告を出稿。

広告期間 令和 7 年 4 月 20 日～5 月 20 日

再生回数 1,197,073 回/人

総再生回数 約 360 万回/人（130 万回増）



「ILC in Action～科学との出会い～」ダンス Ver

イ. 海外への情報発信強化

① 第 26 回凝縮系核科学国際会議（ICCF26）への後援

令和 7 年 5 月 26 日（月）～30 日（金）/キオクシアアイーナ（いわて県民情報交流センター）8 階

主 催：岩手大学

内 容：未来のクリーンエネルギーの可能性を秘めた凝縮系核科学分野の国際会議。ICCF26 では、この分野の中でも、主に水素を利用した新たな技術について、最新の研究成果や実用化について議論を目的に開催。ILC ブースを出展。ILC パンフレット、ILC ガイドライン、ILCPR 動画周知カードを配布。夕食会にて ILC についての紹介を行い、ILC - PR 動画「ILC in Action～科学との出会い～」をスクリーンにて上映。また、夕食会参加者には ILC オリジナルメモ帳、ILCPR 動画周知カードを配布。

参加者：169 名

（日本、アメリカ、イタリア、フランス、ロシア、中国、インド等の大学、研究機関、企業の研究者、技術者、企業関係者等）

② 北米トップセールスに伴う米国研究所等視察等

(1) 村山 斉カリフォルニア大学バークレー校教授との意見交換及び同校、
ローレンスバークレー国立研究所視察

令和7年9月7日（日）/カリフォルニア大学バークレー校、ローレンスバークレー国立研究所

参加者：達増知事、谷村会長、岩手県植野 ILC 局長

随行者：岩手県田澤総括課長、和山主査、五日市主査ほか

内 容：次期欧州素粒子物理戦略に対する米国の姿勢、ILC に対する米国の研究者の認識について、村山 斉教授と意見交換。

カリフォルニア大学バークレー校：アーネスト・オーランド・ローレンスが加速器を初めて作った部屋やノーベル賞に係る展示を視察。

ローレンスバークレー国立研究所：ローレンスが作成したごく初期の加速器の実物、ノーベル賞に係る展示を視察。

(2) SLAC国立研究所訪問

令和7年9月8日（月）/SLAC 国立研究所

対応者：①基礎物理学局加速器研究所長 Prof. Joshua Frieman ②素粒子物理学教授 Prof. Michael Peskin ③基礎物理学局 Prof. Daniel Akerib ④加速器局副局長 Dr. Mei Bain ⑤ 加速加速器局 Prof. Tor Raubenheimer ⑥クライオモジュール修理・保守設備責任者 Dr. Martine Martinello ⑦加速器局 Prof. Spencer Gessner ⑧技術開発局 Prof. Emilio Nanni ⑨基礎物理局 Prof. Caterina Vernieri ⑩LCLS II 運用責任者 Dr. Sebastian Aderhold

参加者：達増知事、谷村会長、岩手県植野 ILC 局長

随行者：岩手県田澤総括課長、和山主査、五日市主査ほか

内 容：SLAC におけるヒッグスファクトリーに関する主要メンバーとのディスカッション

LCLS II 及び超伝導 RF 基盤施設の見学、ILC 開発を行う若手研究者とのディスカッション



SLAC国立研究所訪問

(3) ロサンゼルス エンジェルス 菊池 雄星選手との面談

令和7年9月9日（火）/カリフォルニア州 ロサンゼルス

参加者：達増知事、谷村会長

随行者：岩手県田澤総括課長、和山主査、五日市主査ほか

内 容：菊池雄星選手の激励とともに岩手県及び ILC の支援を依頼。

③ Maxim Titov 氏（仏国：Saclay 研究所博士）との懇談会、懇親会

欧州の情勢についての説明と ILC 等の大型衝突型加速器のサステナブルについて、欧州の状況と日本の取組みの状況について意見交換を行うことを目的として開催。

○懇談会（主催：東北 ILC 事業推進センター）

令和 8 年 1 月 21 日（水）16：00～17：50/アイーナキャンパス学習室 1

内 容：司会 山本 均 東北大学名誉教授

(1) 挨拶及び ILC を取り巻く最新の情勢について

鈴木 厚人 岩手県立大学学長、東北 ILC 事業推進センター代表

(2) 欧州素粒子物理戦略状況及び大型加速器のサステナブルについて

Maxim Titov Saclay 研究所 博士

(3) 東北に立地する ILC の持続性について

吉岡 正和 KEK 名誉教授

(4) グリーン ILC への企業の取組について

近藤 正彦 株式会社近藤設備 代表取締役

水戸谷 剛 東日本機電開発株式会社 代表取締役

出席者：谷村会長、猿川事務局長

○懇親会（主催：岩手県 ILC 推進協議会）

令和 8 年 1 月 21 日（水）18：15～20：30/ホテルメトロポリタン盛岡「こずかた」

出席者：Maxim Titov 博士、谷村会長、齋藤理事、佐々木副知事、岩手県植野 ILC 推進局長、岩手県立大学鈴木学長、吉岡 KEK 岩手大学・岩手県立大学名誉教授、岩手大学成田教授、近藤社長、水戸谷社長

内 容：谷村会長から ILC 日本誘致実現に向けた活動を説明。Maxim Titov 氏に ILC 誘致実現のために、地元は熱意をもって粘り強く積極的に活動していることを説明し、欧州の研究者に広めていただくことを依頼した。

④ 国際スクール「5th Iwate Collider School (ICS2026)」（共催）

令和 8 年 3 月 2 日（月）～3 月 6 日（金）/ANA クラウンプラザリゾート安比高原

主 催：岩手大学、高エネルギー加速器研究機構（KEK）、

共 催：岩手県 ILC 推進協議会、岩手県立大学

内 容：素粒子物理を先導する国内外の講師を招き、基礎から最先端まで高い専門性や国際的通用性を持つ大学院生、若手博士研究者の育成を目的とした実習形式のスクール合宿が岩手安比高原で開催された。

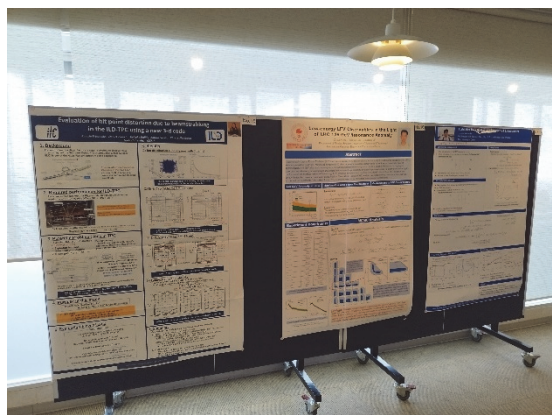
参加者：大学院生、若手研究者 27 名

外国機関所属者 19 名（ドイツ 2 名、イタリア 1 名、トルコ 1 名、インド 7 名、中国 1 名、香港 1 名、タイ 1 名、ベトナム 1 名、フィリピン 3 名、韓国 1 名）、日本機関所属者 8 名（うち 2 名外国籍）

講 師：外国機関所属者 2 名（欧州）、日本機関所属者 7 名

※国際スクールの写真等含め内容詳細はホームページで公開

<https://ics.sgk.iwate-u.ac.jp/>



国際スクール「Iwate Collider School 2026」

⑤ ILC 英語版広報誌「THE KITAKAMI TIMES」の発刊（当協議会ホームページ内）

海外の研究者等に ILC の候補地である北上サイトや岩手県内の観光やイベント情報、ILC 実現に向けた地域の取組等を英語版の広報紙としてウェブ上に掲載し、北上サイトに対する理解や機運醸成に努めた。

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 207 刊～222 刊（16 刊）発刊

⑥ ILC サイト紹介動画の発信

海外の研究者等に建設候補地周辺地域の日常、風景、暮らしを知ってもらうための地域紹介動画を令和 3 年度に制作、令和 7 年度も SNS により周知を行った。

タイトル 『A life in Japanese Countryside : Iwate pref.』

ウ. 普及啓発活動ー①. 公開講演会等

① 第 15 回グリーン ILC セミナー（共催）

令和 7 年 7 月 16 日（水）13：30～16：30/ツガワ未来館アピオ（岩手産業文化センター）特別会議室

主催：岩手県

共催：滝沢市、東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会

挨拶：滝沢市長 武田 哲 氏

概況説明：

講演 木造建築の推進による脱炭素化の取組について

1. 「ILC 実現に向けた脱炭素化の取組について」

講師：岩手大学・岩手県立大学 客員教授 吉岡 正和 氏

2. 「L00P50 プロジェクトと大型木造建築について」

講師：株式会社大林組営業本部カーボンニュートラル・ウッドソリューション部
部長 坂田 尚子 氏

3. 「ライフサイクルカーボンの削減に向けた取組み・脱炭素化の可視化について」

講師：株式会社シェルター 常務取締役 安藤 広幸 氏

4. 「岩手の林業の現在と未来」

講師：有限会社二和木材 代表取締役 小笠原 清貴 氏

話題提供：「東北におけるサイエンスツアー」

スピーカー 花巻温泉株式会社 総支配人 及川 悟 氏

意見交換「会場とのディスカッション」 ファシリテーター 吉岡 正和 氏

② 未来を切り拓く!! 国際リニアコライダー（ILC）公開講演会 ～ILC 日本誘致のために～

令和 7 年 7 月 17 日（木）13：00～15：40/ホテルメトロポリタン盛岡 NW メトロポリタンホール

主催：岩手県 ILC 推進協議会

共催：岩手県、東北 ILC 事業推進センター、ILC 実現誘致期成同盟会

後援：先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、東北 ILC 推進協議会

内容：

開会挨拶：谷村会長

メッセージ：鈴木俊一自由民主党総務会長、小野寺五典 同 政務調査会長

ご芳名のみ紹介：岩手県選出：階 猛 衆議院議員、宮城県選出：櫻井 充 参議院議員
講演

第一部 ILC 実現にむけて：地域産業の挑戦

ファシリテーター 岩手大学・岩手県立大学 客員教授 吉岡 正和 氏

「革新的吸着剤活用による新たな地域熱エネルギー循環型社会への挑戦」

講師：東日本機電開発株式会社 代表取締役 水戸谷 剛 氏

「ILC は技術のブレークスルー：技術検討業務に参加して」

講師：株式会社近藤設備 代表取締役 近藤 正彦 氏

「里山と共生する『エネルギーの森』への挑戦～最新技術をベースとした林産業～」

講師：株式会社柴田産業 代表取締役 柴田 君也 氏

第二部 「ILC での『宇宙始まりの研究：』実現へ 研究者の挑戦」

講師：高エネルギー委員会 幹事

東京大学素粒子物理国際研究センター 名誉教授 森 俊則 氏

閉会挨拶：岩手県立大学 鈴木学長

・会場入場者 約 400 名



森 俊則 名誉教授



ILC 公開講演会

② 「ILC と科学」 - 子供たちのための勉強会

第1回 「ILC と科学」 - 子供たちのためのミニ勉強会 -

令和7年6月7日（土）10：00～11：00/北上市文化交流センター さくらホール feat. ツガワ

対象：小中高生および保護者

内容：ブラックホールの模型を作ろう！

講師：奥州宇宙遊学館サイエンスリーダーズ

第2回 「ILC と科学」 - 子供たちのためのミニ勉強会 -

令和7年6月21日（土）10：00～11：00/北上市文化交流センター さくらホール feat. ツガワ

対象：小中高生および保護者

内容：モーターはなぜ回るの？

講師：奥州宇宙遊学館サイエンスリーダーズ

夏休み「ILC と科学」 - 子供たちのための勉強会 2025 -

令和7年7月28日（月）11：00～16：30/北上市文化交流センター さくらホール feat. ツガワ

対象：小中高生および保護者

内容：(1) 出前授業

- ・「ILC って何？」

講師：岩手大学理工学系技術部 技術室長 藤崎 聡美 氏

- ・「サイエンスショー」

講師：岩手大学 工学ガールズ

(2) 科学実験体験・展示コーナー

- ・超伝導ジェットコースター

- ・発電体験

- ・科学模型製作コーナーほか

(3) ワークショップ

- ・UV レジンでオリジナルマスコットを作ろう！

- ・太陽電池を知って、ソーラーカー作りにチャレンジ！



サイエンスショー



超電動ジェットコースター体験

④ 未来を切り拓く!! 国際リニアコライダー（ILC）公開講演会 ～ILC 日本誘致実現に向けて～

令和 7 年 12 月 8 日（月）13：30～16：00/ホテルメトロポリタン盛岡 NW メトロポリタンホール

主催：岩手県 ILC 推進協議会

共催：岩手県、東北 ILC 事業推進センター、ILC 実現建設地域期成同盟会

後援：先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、東北 ILC 推進協議会

内容：

開会挨拶：谷村会長

メッセージ：鈴木俊一自民党幹事長、小野寺五典前政務調査会長

ご芳名のみ紹介：

岩手県選出：階 猛 衆議院議員、木戸口 英司 参議院議員、横澤 高德 参議院議員

宮城県選出：櫻井 充 参議院議員

講演

第一部「国際情勢の変化と ILC IN JAPAN の価値」

講師：カリフォルニア大学バークレー校 Mac Adams 冠教授

東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構初代機構長 特別教授 村山 斉 氏

第二部 「地方創生モデルを目指して：ILC で東北の未来創造」

講師：ILC100 人委員会代表 株式会社野村総合研究所 顧問 増田 寛也 氏

閉会挨拶：岩手県立大学鈴木学長

・会場入場者 約 500 名



村山 斉 特別教授



増田 寛也 代表

⑤ 第 16 回グリーン ILC セミナー（共催）

令和 8 年 2 月 4 日（水）13：30～16：30/久慈市文化会館アンバーホール会議室

主催：岩手県、東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会

挨拶：主催者挨拶 岩手県 ILC 推進局 植野 歩未 局長

開催地挨拶 久慈市 遠藤 穰一 市長

講演：「ILC 実現に向けた脱炭素化の取組について」

講師：KEK 名誉教授、岩手大学・岩手県立大学名誉教授 吉岡 正和 氏

「岩手県の再生可能エネルギー導入促進に向けた取組について」

講師：岩手県環境生活部特命参事兼グリーン社会推進課長 千田 志保 氏

「地域に裨益する再エネ事業について」

講師：HSE株式会社 取締役社長 石田 桂 氏

「地域材を活用した木質再エネ事業の取組について」

講師：有限会社マルヒ製材 代表取締役社長 日富 和孝 氏

「航空レーザ計測データを活用した森林資源解析と森林由来Jクレジットの創出について」

講師：アジア航測株式会社森林ソリューション技術部森林ビジネス推進室

パネルディスカッション ファシリテーター 吉岡 正和 氏

ウ. 普及啓発活動ー②. その他（後援・協力等）

① （一社）国際経済政策調査会「PSG 特別セミナー」（協力）

令和7年7月7日（月）14:00～15:30/赤坂インターシティ AIR

主催：（一社）国際経済政策調査会（吉岡 正和代表理事）

講演：「量子と素粒子が拓く未来」

講師：高エネルギー加速器研究機構 機構長 浅井 祥仁 氏

出席：猿川事務局長

② 令和7年度岩手県工業技術センター 一般公開（協力）

令和7年10月4日（土）9:30～16:30/岩手県工業技術センター他

主催：（地独）岩手県工業技術センター

共催：（一社）岩手県発明協会、（公財）いわて産業振興センター、（株）イーハトーブ・スクエア

内容：岩手 ILC 連携室・オープンラボ見学

来場者数：1,377名

③ 令和7年度みちのく共生会 講演会（協力）

令和7年11月5日（水）16:00～17:15/ホテルメトロポリタン盛岡 NW

主催：みちのく共生会（みちのくコカ・コーラボトリング株）

講師：広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授 栗木 雅夫 氏

演題：「ILCが拓く未来：学術・医療・産業」

出席：120名

④ （一社）国際経済政策調査会「PSG 特別セミナー」（協力）

令和7年11月17日（月）14:00～15:30/赤坂インターシティ AIR

主催：（一社）国際経済政策調査会（吉岡 正和代表理事）

講演：「トランプ政権と我が国の経済安全保障」

講師：元経済産業大臣 甘利 明 氏

出席：齋藤理事、猿川事務局長

⑤ 令和 7 年度いわての高校生 サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト（共催）

令和 7 年 12 月 14 日（日）10:00～16:00/アイーナ岩手県民情報交流センター

主催：岩手県

共催：岩手県教育委員会、岩手大学、岩手県国際リニアコライダー推進協議会

内容：岩手県内の高校生・高専生による物理・化学・工学のいずれかの分野に関する研究などの成果発表をコンテスト形式で行うもの。

5 校 9 チーム参加（盛岡第三、水沢、盛岡第一、黒沢尻北、盛岡中央）

知事賞：盛岡第一高等学校

「ジグゾニア」・「ジグソーパネル組み立て自立型ロボットの開発」

⑥ （一社）国際経済政策調査会「PSG 特別セミナー」（協力）

令和 8 年 1 月 26 日（月）14:00～15:30/赤坂インターシティ AIR

主催：（一社）国際経済政策調査会（吉岡 正和代表理事）

講演：「ILC が生み出す経済成長 ～基礎科学分野への投資～」

講師：前日本経済新聞社編集委員 小玉 祥司 氏

出席：齋藤理事、猿川事務局長

⑦ 2026 国際宇宙産業展 ISIEEX（協力）

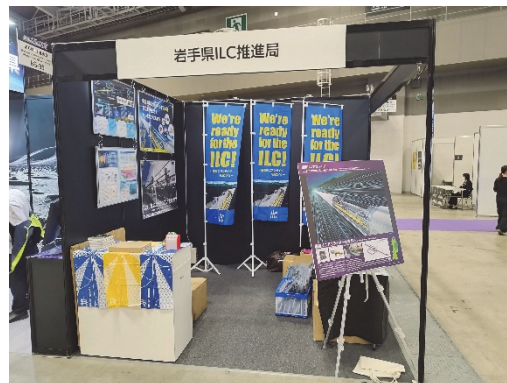
令和 8 年 1 月 28 日（水）～1 月 30 日（金）/東京ビッグサイト（東京都）

主催：日刊工業新聞社

来場者数：延べ 26,338

内容：岩手県 ILC 推進局と連携して実施。ブース付近の来場者へのパンフレット配布、ILC の広報戦略に役立てるためのアンケートへの回答依頼、回答者への普及啓発グッズプレゼントを実施。ブース来場者数は約 600 名。

同時開催：防災産業展 2026、グリーンインフラ産業展 2026、G 空間 EXP02026



2026 国際宇宙産業展 ISIEEX ブース

エ. 岩手県 ILC 連携室・オープンラボの活用支援

平成 30 年 4 月、ILC の中核部品であるクライオモジュールの実機の展示や ILC の関連情報を集約して、ILC への参入を目指すものづくり事業者や興味を持つ児童、教師など誰もが学習・研究できる拠点として岩手県先端科学技術研究センター内に開設。

また、令和4年度より施設を拡充し、令和6年4月には新たに「RF 加速空洞の加速電場性能評価試験のためのビーズ測定装置」を設置して公開した。

実験設備オープンラボ及び実験室にて、実験実習チャレンジ部を講師に高エネルギー加速器研究機構吉岡正和名誉教授を招いて年5回実施した。

見学者：個人1,381名・13団体56名 計1,437名

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)



岩手県 ILC 連携室・オープンラボ

(4) 調査・研究事業

ア. ILCに関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出

■岩手県、いわて加速器関連産業研究会他と連携したセミナー

① 令和7年度総会・第1回 ILC 技術セミナー（後援）

令和7年6月5日（木）13:30～／プラザおでって

主催：いわて加速器関連産業研究会

講演1 「J - PARC 加速器のビームパワー増強」

高エネルギー加速器研究機構 シニアフェロー 五十嵐 進 氏

講演2 「核破砕中性子源1MWへの旅：これまでとこれから」

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 教授 涌井 隆 氏

② 第2回 ILC 技術セミナー（後援）

令和7年7月30日（木）13:30～／岩手 ILC 連携室・オープンラボ

主催：いわて加速器関連産業研究会

テーマ：「加速器ビジネスへの参入の歴史、岩手における企業活動」

講演1：「大きな夢と小さな一歩」

株式会社ミラプロ 執行役員 興石 智一 氏

講演2：「アルミ電解コンデンサーで支える未来のテクノロジー ニチコン岩手㈱のご紹介」

ニチコン岩手株式会社代表取締役工場長 山本 康司 氏

③ 第3回 ILC 技術セミナー（岩手大学・第23回加速器技術連続セミナー）（後援）

令和7年9月30日（火）13:30～／岩手大学 みらいA10ホール

主催：いわて加速器関連産業研究会

共催：岩手大学

講演1：「ILCの目指すもの（物理の面から）」

岩手大学教育学部 教授 馬渡 健太郎 氏

講演2：「ILCを取り巻く世界情勢、欧州戦略について」

岩手大学客員教授 山本 明 氏

講演3：「固体凝縮系での新奇な核反応とエネルギー応用」

岩手大学理工学部 教授 成田 晋也 氏

話題提供・「3Dプリンタを用いたシンチレータの製造」

岩手大学理工学部 助教 細川 律也 氏

④ 第4回 ILC 技術セミナー（後援）

令和7年11月20日（木）13:00～／アイーナキャンパス学習室1

主催：いわて加速器関連産業研究会・岩手県立大学

講演1 「大学生の健康」

岩手県立大学 学長 鈴木 厚人 氏

講演2 「岩手町におけるクアオルト健康ウォーキングの可能性の検討」

—これまでの取組みと町民対象研究を通して—

岩手県立大学 看護学部講師 藤澤 由香 氏

講演3 「健康経営について」

株式会社タカヤ 管理本部 白 蘭 氏

情報提供 株式会社青森みちのく銀行、株式会社近藤設備、岩手県県北・沿岸振興室

講演4 「働く人を元気に！食で拓く地域の未来」

盛岡大学 栄養科学部講師 氏家 真奈 氏

⑤ 第5回 ILC 技術セミナー（後援）

令和8年1月29日（木）14:00～／マリオス181会議室

主催：いわて加速器関連産業研究会

講演1 「サイクロトロンの中核神経外科医学研究への応用」

岩手医科大学 学長 小笠原 邦昭 氏

講演2 「加速器を活用した立位型がん治療とレオ・キャンサー・ケアの紹介」

レオ・キャンサー・ケア APAC リージョナルマネージャー 中安 昭夫 氏

イ. 東北 ILC 事業推進センターの活動

東北 ILC 事業推進センターは、ILC 国際推進チームはじめ研究者コミュニティと密接な連携の下、建設候補地周辺の関係機関が協働して建設に必要な条件整備、受け入れ態勢の整備等について、地域が主導して検討を進めることを目的としている。

構成団体：岩手県、宮城県、仙台市、盛岡市ほか候補地周辺自治体、東北大学、岩手大学、

岩手県立大学、岩手県 ILC 推進協議会 19 団体

連携機関：（一社）先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、東北 ILC 推進協議会

協力機関：高エネルギー加速器研究機構（KEK）

代表：岩手県立大学 鈴木厚人 学長

部会・部会長 地下施設検討部会：東京慈恵会医科大学 佐貫 智行 教授

まちづくり検討部会：岩手県立大学 鈴木 厚人 学長

ILC 理解促進部会：岩手大学 成田 晋也 理工学部教授

加速器関連産業検討部会：岩手大学・岩手県立大学 吉岡 正和 客員教授

グリーン ILC 検討部会：岩手大学・岩手県立大学 吉岡 正和 客員教授

会議等

○東北 ILC 事業推進センター会議

毎週火曜日 9:00～10:00／岩手県立大学アイーナキャンパス学習室

メンバー：岩手県立大学鈴木厚人学長、岩手大学・岩手県立大学吉岡正和客員教授、岩手大学成田晋也教授、東北大学山本均名誉教授、東北大学京谷孝史名誉教授、東京慈恵会医科大学佐貫智行教授、岩手県 ILC 推進局、岩手県 ILC 推進協議会（齋藤理事、猿川事務局長）

・各部会活動の進捗や課題等について協議のほか、国内外の ILC の最新状況について情報を共有している。

○令和 7 年度総会

令和 7 年 6 月 20 日（金）／書面決議

- 議事 （1）令和 6 年度事業報告及び収支決算の承認について
（2）令和 7 年度事業計画案及び収支予算案の決定について

○第 1 回幹事会

令和 7 年 5 月 27 日（火）10:30～12:00／岩手県立大学アイーナキャンパス学習室・（オンライン）

- 議題 （1）総会提出議案について
（2）令和 7 年度総会の開催方法について

○第 2 回幹事会

令和 8 年 1 月 20 日（火）10:00～11:10／オンライン開催

- 議題 （1）令和 7 年度の部会活動状況等について
（2）令和 7 年度予算の執行見込等について
（3）令和 8 年度事業の基本的考え方等について

○第 3 回幹事会

令和 8 年 3 月 26 日（木）10:00～11:30／オンライン開催

- 議題 （1）令和 7 年度事業実績及び決算見込について
（2）令和 8 年度事業計画（素案）及び予算（素案）について

○ILC 計画現状説明会

日時 令和 7 年 8 月 4 日（月）14:30～16:00／大船渡市民文化会館・リアスホール

- 内容 （1）講演 「ILC の最新の動向について」
岩手県 ILC 事業推進センター代表 鈴木 厚人 氏
（2）東北 ILC 事業推進センター活動状況報告
同 事務局長 大平 尚 氏

○チャレンジ部

高エネルギー加速器研究機構（KEK）名誉教授 吉岡 正和氏を講師に、ILC 連携室・オープンラボ及び実験室にて、電磁石の磁場測定実習など年 5 回開催した。

ウ. ガイドラインシリーズ等の発刊による国内外への情報発信強化

① 『日本成長戦略と ILC（加速器）』の発刊

2025 年 11 月 4 日、日本成長戦略本部が設置され、その具体化に向けて「日本成長戦略会議」が設置された。「強い経済」実現を目指し、「危機管理投資」・「成長投資」の 17 分野で官民投資の促進策を 2026 年夏までに成長戦略を策定。

成長戦略 17 分野と ILC（加速器）の関わりをまとめ、要請活動の資料とした。

— 「危機管理投資」・「成長投資」による強い経済実現に資する ILC（加速器）—

日本の未来の牽引力・稼ぐ力を創出し、持続的な成長型経済をもたらす

1. 国際展開支援・人材育成と ILC（加速器）

2. AI・半導体、造船、量子、バイオ、航空・宇宙など、戦略分野と ILC（加速器）

新技術立国・勝ち筋となる産業分野の国際競争力強化と ILC（加速器）

ILC をホストすることは、科学を礎にして

国際社会をリードするとともに「科学技術立国」を実現

② ガイドラインシリーズ 9

「先端加速器（ILC）技術の社会への貢献」の増刷 部数 500 部

③ 「ガイドラインシリーズ 9－Ⅱ」の発刊準備

「先端加速器（ILC）技術の社会への貢献」Ⅱ - ILC と『半導体』・『エネルギー』

□ ILC と次世代半導体

1. 半導体の戦略的重要性
2. 日本の半導体産業の現状と課題
3. 半導体技術の最前線「ナノ（nm）をめざせ」
4. 次世代の光源は加速器が創る
5. BEUV 光源開発と ILC 技術
6. ILC による半導体産業へのインパクト

□ ILC とエネルギー問題の解決

1. 線形先端加速器（ILC）の特長
2. ILC 加速器で実現する安全な原子炉
3. ILC 加速器で放射性廃棄物を消滅処理
4. ILC 加速器で地上に太陽を



(5) 広報活動

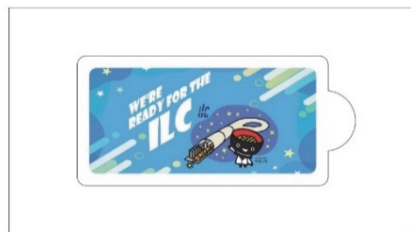
① ILC オリジナルグッズの販売

ILC を PR するためのノベルティグッズ（ILC うちわ、ILC ウェットティッシュ、ILC ポケットティッシュ、ILC シール、ILC のぼり、ILC ミニのぼり、ILC クリアファイル）を各自治体から要望を受けて販売。各自治体のイベント、講演会等で使用頂いた。

- ・ 令和 7 年度新規作成ノベルティグッズ



ILC うちわ



ILC ウェットティッシュ



ILC シール

② ILC 誘致実現支援自動販売機」の継続設置

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社様のご協力を得て、売上の一部が ILC 誘致実現の活動（当協議会の活動等）に寄付される自動販売機を県内 2 か所に継続して設置している。



盛岡市（マリオス 3F）



奥州市（ダイコー壺番館）

③ イメージキャラクター「ILC そばっち」の活用

ILC への親しみやすさや岩手県が候補地であることのイメージの醸成のため、平成 27 年度に作成。当推進協議会会員等関係機関において広報物等に利用されている。

提供数：4 件（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）



(6) 組織強化活動

ア. 会員増強

- ・未加入であった県内市町村（4市町村）へ会員加入の働きかけを行った。
令和8年度より県内全市町村が会員加入。
- ・法人・団体会員は17会員の減、個人会員は2会員の減。会員状況については別掲。

イ. 産・学・官・関係機関との連携

■（一社）先端加速器科学技術推進協議会（AAA）との連携

① 総会

令和7年6月16日（月）9：00～10：30／国際文化会館 岩崎小弥太記念ホール

出席者：猿川事務局長（谷村理事代理）

報告：2024年度事業報告、理事会決議事項の件

議事：第一号 2024年決算報告・監査報告の件

第二号 2025年度事業計画の件

第三号 2025年度予算の件

第四号 2025年度役員選任の件

特別講演：「ILCの現状と挑戦」

講師 高エネルギー加速器研究機構 機構長 浅井 祥仁 氏

（ア）理事会

第46回理事会

令和7年5月22日（木）15：00～16：30／三菱重工(株)会議室

出席者：谷村会長 随行者：猿川事務局長

議事：・2025年度通常総会議案の件

・事務局員任命の件、事務局長任命の件

（イ）事務局会議等

- ・役員団体事務局員、各部会長を構成員とする事務局会議に猿川事務局長が出席。
技術部会、サステナビリティ検討部会が主催するセミナーに参加した。

■東北 ILC 推進協議会との連携

① 総会

令和7年6月19日（木）／ウェスティンホテル仙台

議事 第1号議案 2024年度事業報告並びに決算について

第2号議案 2025年度事業計画並びに予算について

第3号議案 国際リニアコライダーの日本誘致に関する決議（案）について

講演 「ILCの現状と挑戦」

講師 高エネルギー加速器研究機構 機構長 浅井 祥仁 氏

② 第1回幹事会

令和7年5月12日（月）11：00～12：00／オンライン

議事 (1) 2024年度事業報告及び決算について

(2) 2025年度事業計画（案）及び予算（案）について

(3) 国際リニアコライダーの日本誘致に関する決議（案）について

③ 第2回幹事会

令和8年3月25日（水）／オンライン

- 議事 (1) 2024年度事業報告及び決算について
(2) 2025年度事業計画（案）及び予算（案）について

④ 2025年度第1回 ILC 講演会（後援）（会場参加者：50名、オンライン）

令和7年9月17日（水）15：00～16：30/ウェスティンホテル仙台

主催：東北 ILC 推進協議会

後援：（一社）先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、東北 ILC 事業推進センター、岩手県国際リニアコライダー推進協議会、ILC 実現建設地域期成同盟会、大船渡市 ILC 推進協議会、気仙沼地区商工団体連絡会、一関市・平泉町 ILC 誘致推進協議会、陸前高田市 ILC 誘致促進協議会、奥州市 ILC 推進連絡協議会、気仙沼市国際リニアコライダー推進協議会、登米市国際リニアコライダー誘致推進協議会、栗原市 ILC 誘致推進協議会

講演：「ITER 計画、核融合プロジェクトの最前線とその進捗」

講師：ITER 機構 建設プロジェクト室長 大前 敬祥 氏

出席：齋藤理事

⑤ 2025年度第2回 ILC 講演会（後援）（会場参加者：50名、オンライン）

令和8年3月25日（水）15：00～16：30/ウェスティンホテル仙台

主催：東北 ILC 推進協議会

後援：（一社）先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、東北 ILC 事業推進センター、岩手県国際リニアコライダー推進協議会、ILC 実現建設地域期成同盟会、大船渡市 ILC 推進協議会、気仙沼地区商工団体連絡会、一関市・平泉町 ILC 誘致推進協議会、陸前高田市 ILC 誘致促進協議会、奥州市 ILC 推進連絡協議会、気仙沼市国際リニアコライダー推進協議会、登米市国際リニアコライダー誘致推進協議会、栗原市 ILC 誘致推進協議会

講演：「ILC 計画の現状と課題」

講師：ILC - Japan 代表 石野 雅也 氏

出席：猿川事務局長

■ ILC 計画研究会との連携

全体会

令和7年4月17日（木）／TODA ホール&カンファレンス

1. ILC 誘致活動の最新状況
2. 建設課題関連分科会の成果報告
3. 次世代まちづくり分科会の成果報告

■ いわてまるごと科学館実行委員会との連携

いわてまるごと科学館

令和7年11月29日（土）／アイーナ

概要：岩手県 ILC 推進協議会ブースを出展。

岩手県 ILC 推進局とクイズや ILC-VR 体験の実施、

リーフレット、パネル・ポスターを展示。

当協議会作成の ILC うまい棒を配布した。



いわてまるごと科学館

■岩手県 ILC 推進局との連携

- ・ 随時、相互の活動状況や今後の活動計画等について意見交換を実施。

(7) 諸会議等

■役員会

第 1 回役員会

令和 7 年 6 月 12 日（木）13:30～14:50／ホテルメトロポリタン盛岡 NW

議事（1）令和 6 年度事業報告並びに収支決算について

（2）令和 7 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

報告「岩手県の ILC 推進の取組について」

岩手県 ILC 推進局 植野 歩未 局長

講話「大型国際研究施設：グリーン ILC への挑戦」

岩手大学・岩手県立大学 客員教授 吉岡 正和 氏



谷村 邦久 会長



吉岡 正和 客員教授

■幹事会

第 1 回幹事会

令和 7 年 5 月 19 日（月）13:30～14:30／盛岡商工会議所

議事（1）役員会提出議案について

■監査会

令和 7 年 5 月 19 日（月）14:30～15:00／盛岡商工会議所

令和 6 年度会計監査を実施。

(8) 会員加入状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

合計 481 会員（法人・団体 446 会員、個人 35 会員）

※19 会員減：年度当初 500 会員（法人・団体 463、個人 37）

令和7年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支決算書

自)令和7年 4月 1日

至)令和8年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項 目	決算額	予算額	対比増減(△)	備 考
1. 会費	9,825,000	10,030,000	△ 205,000	
(1)法人会費	9,660,000	9,860,000	△ 200,000	予算:452会員/493口 → 決算:443会員/483口
(2)個人会費	165,000	170,000	△ 5,000	予算:32会員/34口 → 決算:31会員/33口
2. 負担金	500,000	500,000	0	@100,000×経済5団体
3. 雑収入	2,140,700	1,230,778	909,922	・広報グッズ作成に係る負担金1,511千 ・東北ILC事業推進センター負担金返還金 209千 ・みちのく共生会寄付金 257千 ・自販機手数料 162千 ほか
4. 繰越金	6,081,222	6,081,222	0	
合 計	18,546,922	17,842,000	704,922	

■支出の部

(単位:円)

項 目	決算額	予算額	対比増減(△)	備 考
1. 事業費	10,575,847	14,000,000	△ 3,424,153	・ILC公開講演会開催費(2回) 2,257千 ・国会議員等への要望旅費等 1,734千 ・全国向け普及啓発動画広告発信費 1,227千 ・東北ILC事業推進センター負担金 1,200千 ・広報グッズ作成費 1,786千 (ILCうちわ・ILCウェットティッシュ・ILCシール等) ・Iwate Collider School 2026共催負担金 1,000千 ・ICCF26後援負担金 500千 ・東北ILC推進協議会会費 100千 ・事業報告書印刷費 374千…など
2. 会議費	111,458	150,000	△ 38,542	役員会・幹事会開催費
3. 事務費	2,279,317	2,350,000	△ 70,683	
(1)旅費	467,080	500,000	△ 32,920	ILC推進団体総会等旅費
(2)印刷費	194,682	150,000	44,682	資料コピー代、封筒代ほか
(3)通信運搬費	417,555	500,000	△ 82,445	事業報告書・講演会案内等配送料、電話料
(4)事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4. 雑費	201,325	300,000	△ 98,675	振込手数料、消耗品ほか
5. 予備費	0	1,042,000	△ 1,042,000	
合 計	13,167,947	17,842,000	△ 4,674,053	

次年度繰越

5,378,975

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	5,383,975	流動負債	5,000
現金	0	前受金	5,000
預金	5,315,935		
前払金	68,040		
固定資産	0	未処分剰余金	5,378,975
		当期剰余金	5,378,975
合 計	5,383,975	合 計	5,383,975

財 産 目 録

令和8年3月31日

■資産の部

(単位:円)

- | | | |
|---------|------------------|--|
| 1. 現金 | 0 | |
| 2. 普通預金 | 5,315,935 (岩手銀行) | |
| 3. 前払金 | 68,040 (令和8年度旅費) | |

資産合計	5,383,975	
------	-----------	--

■負債の部

(単位:円)

- | | | |
|--------|-------------------|--|
| 1. 前受金 | 5,000 (令和8年度会員会費) | |
|--------|-------------------|--|

負債合計	5,000	
------	-------	--

差引正味財産	5,378,975	
--------	-----------	--

令和7年度会計監査報告書

岩手県国際リニアコライダー推進協議会の令和7年度収支決算について監査をいたしましたところ、収入、支出ともに諸帳簿及び関係書類等と適合し、適正かつ正確に処理されていることを確認いたしましたので、ここに報告いたします。

令和8年5月15日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

監事 宗 形 金 吉



監事 瀬 川 浩 昭



令和 8 年度事業計画（案）

国際リニアコライダー（ILC）をめぐる国際情勢は、急激に進展した中国の巨大加速器計画が中国政府の第 15 次 5 ヶ年に提出されなかったことから、最低 5 年遅れるとの観測があるが、欧州では、将来円形加速器計画の検討が進められ、2028 年の欧州素粒子物理戦略の決定にむけて更新作業が進展している。米国は欧州計画を支援する動きをみせており、その動向を注視していかなければならない。

国内においては、高市政権のもと「日本成長戦略会議」による成長戦略の策定が 2026 年夏までとされ、経済財政諮問会議と連携して「骨太の方針」を視野に活動している。

リニアコライダー国際研究所推進議員連盟（ILC 国会議連）は、2025 年 11 月、新たに大野会長、階副会長が就任して活動を再開しており、2026 年 2 月の衆議院議員選挙後における新役員体制による本格的再始動が期待されている。

当推進協議会は、鈴木俊一自由民主党幹事長、小野寺五典税制調査会長を中心に、東北の国会議員とともに ILC 国会議連の活動を後押しし、ILC 計画が省庁横断による国家プロジェクトとして政府による早期の日本誘致への前向きな意思表示のうえ、国際政府間協議のイニシアティブをとるよう国等への働きかけを一層、強化する。

その活動においては、ILC の加速器技術が多くの成長戦略分野の基盤技術となるものであり、ILC の実現により、広範囲にわたり多様な産業の変革とイノベーションを創出し、ILC こそが「日本の未来の牽引力」、次世代の「稼ぐ力」を創出し、持続的な成長型経済をもたらす「日本の成長戦略の中核」として位置づけられるよう要請する。

さらに海外への情報発信も重要となっており、国内外の研究者との連携や海外研究者の来県時における交流はもとより、「リニアコライダーワークショップ」（LCWS2026 つくば）、「6th Iwate Collider School（ICS2027）」開催など、国際会議等で地域の活動成果を発表する東北 ILC 事業推進センターとともに地域における ILC 受け入れ準備状況の発信につとめる。

さらに政府決定には国民の盛り上がりが必要であることから、全国に発信する ILC 講演会の開催、SNS などを活用した啓発活動、全国イベントへの出展など、各種の啓発活動を切れ目なく展開し、ILC 日本誘致実現に向け、岩手県、ILC 関係団体と万全を期して取り組んでいく。

（１）国等への要望活動の強化

- 岩手県国際リニアコライダー推進協議会による要望活動
- ILC 建設地域期成同盟会ほか政産官学、地域連携による要望活動
- リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟との連携強化
- 経済 3 団体（日本商工会議所、日本経済団体連合会、経済同友会）との連携強化

(2) 国内・外への ILC 実現にむけた活動

■国内 PR の強化

ILC の加速器技術が多く成長戦略分野の基盤技術となるものであり、広範囲にわたり多様な産業の変革とイノベーションを創出する社会的意義の発信のため、ILC 公開講演会を全国に向けて発信する。

また、全国向け ILC 普及動画等の発信や全国イベントにおける ILC ブースの出展などの啓発活動に切れ目なく取り組む。

■海外への情報発信強化

「リニアコライダー国際ワークショップ」(LCWS2026 つくば)等の国際学会へのブース出展など、岩手県、東北 ILC 事業推進センターと連携し、候補地としての活動を積極的に PR する。

また、国際スクール「6th Iwate Collider School (ICS2027)」等の開催を支援し、候補地としての情報発信に取り組む。

当推進協議会ホームページ「THE KITAKAMI TIMES」等、ILC 誘致実現に取り組む情報や北上サイトの魅力など、世界に向けた情報発信は引き続き行う。

■普及啓発活動

ILC の最新動向や社会的意義等をテーマとした ILC 公開講演会を開催し、県民、国民全体に ILC 計画の理解促進と啓発に取り組む。また、岩手県が主催する「いわてまるごと科学館」等の県内イベントに関係団体等と連携して出展を行うとともに、全国イベントにも積極的に参画し、普及啓発に努める。

北上市で開催している「ILC と科学」- 子どもたちのための勉強会 - は好評を博しており、本年度も引き続き事業を拡充して取り組む。

8 月 10 日「子供たちのための勉強会」

於：北上市さくらホール feat. ツガワ

■岩手県 ILC 連携室・オープンラボの活用支援

ILC の情報発信拠点、ILC を契機とした産業、人材育成の拠点として、平成 30 年 4 月に岩手県先端科学技術研究センター内に開設され、令和 4 年度に研究拠点として施設を拡充し、専門コーディネーターの指導による地元企業の研究活動に取り組む「岩手県 ILC 連携室・オープンラボ」の積極的な活用支援を行う。

(3) 調査・研究活動

■東北 ILC 事業推進センターの活動支援

ILC 建設候補地周辺の環境整備や研究施設建設等に関する現地課題の検討に取り組んでいる東北 ILC 事業推進センターが行う ILC 立地に係る調査事業のほか、ILC を契機としたまちづくり・産業振興など、地域が主体となった準備活動に積極的に参画する。

■岩手県、いわて加速器関連産業研究会と連携して、ILC への加速器産業等参入機会の創出やネットワーク構築の支援に取り組む。

■ガイドラインシリーズ等の発刊による国内外への情報発信強化

先端加速器を中核とした国家成長戦略を主題とするガイドラインシリーズ等を発刊し、ILC の社会的意義等を積極的に発信する。

(4) 広報活動

■YouTube 等 SNS ツールの活用

■ILC 啓発グッズの作成・配布、「ILC そばっち」の活用

■「国際宇宙産業展」等、各種イベントによる ILC 広報活動

(5) 組織強化活動

■ILC 日本誘致実現にむけた活動を強化するため、当推進協議会の会員増に努める。

■先端加速器科学技術推進協議会 (AAA)、東北 ILC 推進協議会、ILC 建設地域期成同盟会等と政産官学、地域連携の強化を図る。

(6) 諸会議等

■役員会・幹事会の開催

令和8年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支予算書(案)

自)令和 8年 4月 1日

至)令和 9年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備 考
1. 会費	9,905,000	10,030,000	△ 125,000	
(1)法人会費	9,740,000	9,860,000	△ 120,000	443 会員／487口 × @20,000
(2)個人会費	165,000	170,000	△ 5,000	31会員／33口 × @5,000
2. 負担金	500,000	500,000	0	@100,000 × 経済5団体
3. 雑収入	958,025	1,230,778	△ 272,753	ILC広報グッズ負担金(800千)ほか
4. 繰越金	5,378,975	6,081,222	△ 702,247	
合 計	16,742,000	17,842,000	△ 1,100,000	

■支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備 考
1. 事業費	12,900,000	14,000,000	△ 1,100,000	・国際学会等共催・負担金(LCWS2026つくば、Iwate Collider School、国際ミーティング等) 3,000千 ・国会議員等への要望旅費等 2,200千 ・ILC公開講演会(年2回) 2,000千 ・ILC広報グッズ作成費 1,000千 ・ILC普及啓発イベント費 600千 ・東北ILC事業推進センター負担金 600千 ・ILCガイドラインシリーズ等印刷・発送費 500千 ・ホームページ運用費 440千 ・事業報告、計画書印刷費 430千 ・東北ILC推進協議会会費 100千 ・事業予備費 2,000千
2. 会議費	150,000	150,000	0	役員会・幹事会開催費
3. 事務費	2,350,000	2,350,000	0	
(1)旅費	500,000	500,000	0	関係団体総会・役員会等旅費
(2)印刷費	200,000	150,000	50,000	資料コピー代、封筒代ほか
(3)通信運搬費	450,000	500,000	△ 50,000	広報物・事業報告書等配送料、電話料
(4)事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4. 雑費	300,000	300,000	0	振込手数料、消耗品ほか
5. 予備費	1,042,000	1,042,000	0	
合 計	16,742,000	17,842,000	△ 1,100,000	